



平成20年11月7日

各位

会社名 大東港運株式会社
 代表者名 代表取締役社長 曾根好貞
 (JASDAQ・コード番号: 9367)
 問合せ先 取締役 中丸英実
 電話番号 03-5476-9701

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、平成20年5月20日に公表した第2四半期累計期間および通期の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想数値の修正

(1) 平成21年3月期 第2四半期累計期間 (平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回予想 (A)	8,000	280	250	130	13円85銭
今回修正 (B)	8,289	434	421	250	26円65銭
増減額 (B-A)	289	154	171	120	—
増減率 (%)	3.6	55.0	68.4	92.3	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	7,898	413	376	△84	△8円95銭

(2) 平成21年3月期 通期 (平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想 (A)	15,900	540	480	260	27円70銭
今回修正 (B)	16,200	740	690	390	41円55銭
増減額 (B-A)	300	200	210	130	—
増減率 (%)	1.9	37.0	43.8	50.0	—
(ご参考) 前年実績 (平成20年3月期)	15,789	803	748	14	1円58銭

2. 個別業績予想数値の修正

(1) 平成 21 年 3 月期 第 2 四半期累計期間（平成 20 年 4 月 1 日～平成 20 年 9 月 30 日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前 回 予 想 (A)	7,700	250	210	110	11 円 72 銭
今 回 修 正 (B)	7,949	404	397	238	25 円 45 銭
増 減 額 (B－A)	249	154	187	128	—
増 減 率 (%)	3.2	61.6	89.0	116.4	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 20 年 3 月期第 2 四半期)	7,553	385	356	△91	△9 円 70 銭

(2) 平成 21 年 3 月期 通期（平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前 回 予 想 (A)	15,200	480	410	210	22 円 37 銭
今 回 修 正 (B)	15,400	680	640	360	38 円 35 銭
増 減 額 (B－A)	200	200	230	150	—
増 減 率 (%)	1.3	41.7	56.1	71.4	—
(ご参考) 前年実績 (平成 20 年 3 月期)	15,085	750	769	97	10 円 35 銭

3. 業績予想修正の理由

(1) 第 2 四半期累計期間の業績予想

平成 21 年 3 月期第 2 四半期累計期間の業績予想につきましては、前回公表時点において輸入食品の安全性の問題や、原油、原材料等の価格高騰から景気の先行き不透明感が増すことを考慮し、また、諸施策の取り組みを踏まえ、売上高については前期を上回る目標を掲げるものの、各利益については減少を予想しておりました。この中で、中国産品の輸入貨物取扱いの著しい減少を他国産品の輸入貨物取扱いでカバーし、さらに上昇圧力が懸念された輸送コストや販売管理費において徹底したコスト管理を行った結果、前回予想を上回る見込みとなりましたので、連結および個別の業績予想を修正いたします。

(2) 通期の業績予想

平成 21 年 3 月期通期の業績予想につきましては、米国に端を発する世界経済の減速など、景気の後退はより一層鮮明になっており、さらに厳しい状況で推移すると予測されますが、第 2 四半期累計期間の見込みを踏まえ、連結および個別の業績予想を修正いたします。

(注) 上記予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上